

学生の利益と自治会の統一と団結を守る為に

争点=学生戦線統一をめぐって各派を切る

	学生戦線の統一	府学連問題	暴力—自治会民主主義の醜	全市大学友のみなさん！
統一会議 (民主系派)	全学連再建のための「全自代」において、自らもなつてなく成功した全自代と発言し、議事運営校として阪大(仮)を参加させながら、自らの提議が、13対128で否決されるや、何らの通告もなく、決議である阪大も含めて全自代から逃れ、以後、全学連にことごとく敵対し、「民青全学連」と中傷を加え、全国の学生戦線統一に分裂をもちこんでいる。	府学連27回大会(64.9)において、自派の代議員数が少ないとみるや、学大北田、府大の代議員に、あらなじめデツキ上げに資格審査委(大会当日逃出)で、内部干渉し、暴力で大会参加を拒否し、安保における全学連崩壊以来統一を保っていた府学連を破壊した。以降厚顔にも「府学連」を名乗っているが、昨年度定例大会も開けない状態、その不当性を自らバクロしている。	昨年の6-9の京都デモの際京大統一会議系の諸君が市大の「全学連」派に対して、デモの提議を理由に暴力をふるった。府学連の崩壊についても暴力をふるっている。5.14の両派の討論会にステッカーの看板の張りあいを見せ、規約問題において中執で最終確認せずに秘密で、大学側と交渉しようとするなど、学生不在の「自治会活動」の田舎者に怒っている。	学生戦線の分裂の責任は、全学連派であり、それとの共同しか知らない統一会議(東京では華マル全学連と共同行動をとっている)の具体的犯罪を三つだけあげてみた。 全国の学友は自らの要求を主張し、団結する」中で、全学連の方針の下にソクソクと結集してきています。全学連統一派は、市大を明るく豊かな学園とするため奮闘する決意です。
全学連派	1960年、暴力で、全学連を破壊し自派になって、当時の幹部が田中清玄という右翼に買われていることな明らかになった。全学連破壊の張本人が、全学連再建に敵対し、65年参加自治会数を完全に秘密にして、「再建」大会を強行した。その「全学連」の不当性は、自らが「三派全学連」となり、ある特定の政治グループの名を冠しているのを見ても明らかである。	今年3月、まったく突然、大阪経大「自治会のみで「府学連」を再建する」といふ、市大現中執の西村某が準備委員長となっている。「自治会と各大学政策グループのみで「府学連」再建などと主張しているのは、三派「全学連」再建のやり方そのものであり、全国の学生の統一と団結を破壊する目的をしないことは、明らかである。	「自ら「意見の食い違いを暴力でバルトでのりこえる」などと、民主運動の中に暴力をもち込み、批発者としての本領を発揮している。昨年からは、生協京都地連、関西地連の組織暴力(7月)、法政大での教授なんすめ(10月)市大でのストで、ち上げ教養バリケード(10月)、中央大での女子学生も含め17名の負傷者を出した暴力(4月)など、日常茶飯時となっている。	全市大学友のみなさん！

全学連統一派

全市大学友のみなさん！

全市大学友のみなさん！